

歴史総合 考查対策プリント

次の問いに答えなさい。

1. 1756年からイギリスとフランスが争った戦争を答えなさい。 **七年戦争**
2. 北アメリカの植民地争いに勝利した国を答えなさい。 **イギリス**
3. アメリカ植民地の南東部と北東部の特徴をそれぞれ答えなさい。 **北部:漁業、林業 南部:プランテーション**
4. イギリスが植民地に課税をした理由を答えなさい。 **七年戦争後の財政難を打開するため**
5. ボストン茶会事件のきっかけになった出来事を答えなさい。 **お茶の独占販売**
6. アメリカ独立戦争のアメリカの司令官を答えなさい。 **ワシントン**
7. アメリカ合衆国独立後の方針を3つ答えなさい。 **生命、自由、幸福の追求**
8. ナポレオンが解体した帝国を答えなさい。 **神聖ローマ帝国**
9. ナポレオンがイギリス上陸に失敗して貿易を禁止した命令をなんというか答えなさい。 **大陸封鎖**
10. ナポレオンの力が弱まった出来事を答えなさい。 **ロシア遠征**
11. ナポレオンが二度目の皇帝で同盟軍に敗れた戦いを答えなさい。 **ワーテルローの戦い**
12. ナポレオン後のヨーロッパの国際秩序を答えなさい。 **ウィーン体制**

フランス革命後にナポレオンが国民に受け入れられた理由とナポレオンの政策について100字程度で詳しく述べなさい。

世界各国が自国の利益ばかり追求すると、対立が起こる。しかし、各国は自国が豊かに、自国民がよりよい環境で生活できるように考えている。対立や戦争をなくすためには国同士がどのような手段で接することが大切か考察して150字程度で述べなさい。

空欄に適する語句を答えよ。

アメリカの独立は、(1)にとっては豊かな植民地の喪失を意味した。同時に、身分制および(2)制のもとにあったヨーロッパ諸国にとっては、自由や(3)といった普遍的な理想を掲げる国家が誕生したことは衝撃であり、これらの理想は、つづくフランス革命をはじめとするヨーロッパ諸国の革命でもとなえられることになった。

フランスは、(4)独立戦争で植民地側を支援したため、その戦費として巨額の財政赤字を抱えた。国王(5)は聖職者や(6)などの免税特権をもつ身分にも課税して赤字に対処しようとしたが、彼らが抵抗したため、全国議会(7)を約170年ぶりに開催することで事態の打開をはかった。ところが1789年に(8)が開催されると、平民身分のうちの富裕層である(9)出身の議員がみずからを真の国民の代表であると宣言し、独自の議会を設置した。国王はこれを鎮圧しようとしたが、民衆蜂起(10)の襲撃)がおこったため、国王や特権身分が譲歩して新議会が承認された。新議会は同年に(11)を発し、国民主権、人間の自由、法や権利における平等、私有財産の不可侵などの理想を掲げた。

人権宣言